

けんこうライフ

第61号

令和3年2月

発行 市内市 稚内市地域保健推進委員連絡会 (稚内市保健福祉センター内) ☎0162-23-4000

ななかまど

市立稚内病院内科医長 村中医師に聞いてみよう！ 新型コロナウイルス感染症予防や院内の取組みについて

宗谷管内の医療を守る上で長年大きな役割を果たしている市立稚内病院では、新型コロナウイルス感染症患者の診療・ケアを行っています。今回は感染症制御や院内感染対策の専門的な資格である、「インフェクションコントロールドクター」として、感染症対策の中心的な役割を担っている、内科医長の村中医師に私達が感染症予防対策で疑問に感じることや病院内の取組みについて、お話を伺いました。



感染症対策の中心的役割を担っている村中医師

■人が密集している環境でも適切な距離をあげずマスクをして、ずっと会話している人がいます。感染の心配はないのでしょうか？

心配はありません。マスクをしていれば絶対大丈夫ということではありません。感染のしやすさは、状況によって変わります。3密という「密集・密閉・密接」は感染しやすい条件をわかりやすく説明する言葉で、この条件の内、「密集」だけより、「密集と密閉」の二つの条件が重なる方が、より感染の可能性が上がります。やむを得ず感染しやすい環境で集まる場合は、少しでも感染の可能性を下げる手段として、集まる時間を短時間にして、マスクや手洗い、手指消毒、換気などを行うことが有効です。マスクをしていても話す人は、十分な距離を保つ必要がありますし、保てないのであれば、会話はできるだけ最小限に抑えたり、控えた方が良いでしょう。

■無症状者(新型コロナウイルス)はどの位の割合でいるのでしょうか？

ニュースになったダイヤモンド

ド・プリンセス号とアメリカの原子力空母における感染者のデータでは、感染者の40〜45%の方が無症状者という結果でした。日本では夏に流行した東京都の感染で、東京医大がデータを出しています。東京医大では160人以上の方を検査し、その内コロナウイルス陽性で無症状だった人は、たった2名という結果でした。感染のきっかけになりやすいのは、感染拡大している地域の往來にて、濃厚接触者となった方の感染です。濃厚接触者については、稚内保健所がしっかりと把握しているので心配はないと思います。

■家庭内でもできる冬の換気や加湿はどうしたらよいのでしょうか？

換気は、家の換気扇の回しっぱなしや最近では24時間換気システムを備えた家も多いので、それを活用してください。家庭内に感染疑いの人がいなければ、神経質にならず普段通り過ごして良いと思います。加湿は昔ながらのやかんの蒸

■帰宅後の衣服の消毒は必要でしょうか？

衣服の消毒は感染対策としては、意味がありません。ウイルスが足の裏や服についても、粘膜などから体内に入らない限り感染が成立しないからです。飲食前や帰宅後に一番ウイルスが付着している手をしっかりと洗うことが重要です。

■アルコールの消毒剤が使えない場合の手指の感染対策はどうしたらよいのでしょうか？

アルコールよりももっと良いのは、15秒石けんで洗い、流水

で手洗いです。今は手肌に優しい中性石けんもあるのだから、肌に合うものを使用してください。石けんが使えない方は、水道水だけでも構いません。1分以上時間をかけて流水で洗うだけで、ウイルスの量は1/1000以下になります。

■感染症患者を受け入れる体制の整備で、最も苦労した点について

感染した患者さんとそれ以外のスタッフや患者さんの動線を分けることが院内で一番苦労したところでした。6階病棟は内科病棟ですが、閉鎖し感染症病棟に変え、今までの内科病棟の機能を5階の病棟に移しました。感染者は地下から、感染していない人と接触がないように、交通整理をして移動する形にし、エレベーターも1台専用になりました。そうした調整で一般の患者さんも安心して外来受診できる環境を整えました。

■感染症病棟で診療をする上で感じていることについて

感染症病棟のスタッフは、とても優秀な方が揃っています。不安を感じながら、春に初めて感染者を受け入れた経験が、今は自信につながっています。防護服の着脱一つとっても、今まで

■村中医師から市民の皆様へのメッセージ

稚内市民は感染予防の意識がとて高くて、学校やお店なども含め、とても気をつけて感染対策を下さっています。もうしばらくの辛抱です。ワクチンが出来て接種となれば、新型コロナウイルスの収束が見えてくると思います。もう少しだけ気を抜かずに頑張ってくださいと思います。

発熱時の受診の仕方
直接受診せず、まずは電話でかかりつけ医などにご相談ください。かかりつけ医がいない場合は、北海道の電話相談窓口で相談することが出来ます。
※受診時のお願い
受診の際はマスクの着用、手洗い、咳エチケットの徹底をお願いします。

■北海道の電話相談窓口
北海道新型コロナウイルス感染症健康相談センター
・感染症に関する一般相談
・発熱等の症状がある方からの相談など
電話 0800-222-0018 (24時間対応・フリーコール)